



議会だより

でいすかす

70号

発行・登別市議会／編集・議会だより編集委員会／発行日・2013.8.1

登別市議会

で

検索

市議会ホームページで、本会議などの生中継と過去の議会映像をご覧いただけます

正・副議長の選出および各委員会委員の選任を行う！

平成25年
第2回臨時議会



平成25年第2回臨時議会が5月14日に開催されました。

本臨時議会においては、正・副議長の辞職に伴い選挙が行われ、議長には天神林美彦議員、副議長には上村幸雄議員を選出し、議会運営委員会委員および各常任委員会委員の選任も行われました。

また、登別市農業委員会委員の推薦および西いぶり広域連合議会議員の選出もあり、後期の議会人事がすべて行われました。

主な議案は

- ・平成25年度一般会計補正予算（第1号）について
 - ・登別市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について
 - ・登別市職員の給与に関する条例の一部改正について
- など、それぞれ審議を行い、各議案について全会一致で原案どおり可決しました。



▲議長の所信表明の様子

副議長就任ごあいさつ



副議長
上村 幸雄

副議長の就任に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。この度、副議長就任に当たりその職責の重さを痛感しているところであります。さて、本市議会は平成23年の3月に制定した「登別市議会基本条例」に掲げる理念のもと、議会フォーラムをはじめ、市内の各種団体や地元企業との意見交換会など、多くの市民の皆さまの意見をお聞きするため、積極的な活動に取り組んでおります。

また、本市は大変厳しい財政状況にありますので、「行政と議会」が一体となり、財政健全化に向けての取り組みを、引き続き進める必要があります。今後は議員と共に、市民の皆様に親しまれる、分かりやすい議会運営を目指し、山積している課題解決に向けて、議長をサポートして参りますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。副議長就任のあいさつといたします。

議長就任ごあいさつ



議長
天神林 美彦

このたび、議長選挙におきまして、その重責を拝命させていただくことになりました天神林美彦です。本議会では、まだ経験も浅く未熟者ではありますが、本市の発展と市民福祉の推進に向け、誠心誠意努力する覚悟です。さて、後半任期は2年ではなく1年半と捉えており、その中で「議会としての課題」を確実に解決し、「まちづくりへの一歩」を着実に前進させるために、「議員定数」と「議会からの政策提案の充実」の2つをテーマとしました。いずれも、議員間での十分な議論を重ね、引き続き「開かれた議会」のもと、市民の皆様と意見を交わす中ですすめる所存です。協働とは、目的意識を共有し共通の目標に向かって、それぞれが達成に向け出来ることに力を尽くすことや、互いの特性を活かすことで相乗効果を生み出す「目的達成への役割分担」と理解をしています。変化の激しい時代の中、その変化を敏感に察知し、常に新鮮な感覚で「行動する議会」を目指してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

予算・決算委員会



▲成田委員長

委員長 成田 昭浩
副委員長 沼田 一夫

議長を除く全議員で構成

(決算審査時は、議長および監査委員を除く全議員で構成)

議会運営委員会




▲松山委員長

委員長 松山 哲男
副委員長 杉尾 直樹

沼田 一夫・山口 賢治・渡辺 勉
石山 正志・工藤 俊二・村井 寿行

生活・福祉委員会




▲木村委員長

委員長 木村 俊子
副委員長 工藤 俱二雄

高橋 正美・上村 幸雄
佐々木 久美子・佐藤 幸弘

総務・教育委員会




▲米田委員長

委員長 米田 登美子
副委員長 渡辺 勉

松山 哲男・木村 純一・成田 昭浩
杉尾 直樹・鈴木 木広之

議会だより編集委員会



▲二瓶委員長

委員長 二瓶 秀幸
副委員長 村井 寿行

佐藤 弘樹・佐々木 久美子・尾 直樹
工藤 俱二雄・鈴木 木広之

観光・経済委員会



▲山田委員長

委員長 山田 新一
副委員長 二瓶 秀幸

沼田 一夫・山崎 賢治
石山 正志・村井 秀幸

登別市中小企業地域経済振興基本条例が可決！

平成25年第2回定例会

平成25年第2回定例会が、6月14日から6月25日までの12日間の会期で開催されました。

一般質問には9名の議員が登壇し、政府の地方交付税配分を受け、今後の行政運営、障害者施設への支援、災害時のデジタル情報、市のエネルギー施設誘致、学校での体罰の実態、登別地区の新エネルギー有効活用、医療観光、保育所民営化、官民連携の自治活動などについて、活発な議論が行われました。

主な議案は

- ① 予算・決算委員会における平成25年度一般会計補正予算（第2号）、平成25年度公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）、平成25年度簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）、平成25年度介護保険特別会計補正予算（第1号）
 - ② 総務・教育委員会付託議案
 - ③ 監査委員の選任
 - ④ 公平委員会委員の選任
 - ⑤ 登別市中小企業地域経済振興基本条例の制定について
- などを審議し、各議案について全会一致で原案どおり可決しました。
- また意見書については「平成25年度北海道最低賃金改正等に関する意見書」など3件の意見書を可決しました。

クリンクルセンターの工事請負契約について審査！

総務・教育委員会（付託案件審査）

今期定例会で、総務・教育委員会へ付託された議案3件について、6月14日に資料要求のための委員会を開催し、6月20日に審査が行われました。

主な議題は

- ① 特別職の職員との給与に関する条例の一部改正について
 - ② 北海道市町村総合事務組合規約の一部変更について
 - ③ 工事請負契約について（クリンクルセンターの長寿命化対策）
- 特別職給与に関しては、報酬日額の差異理由や他市との比較を確認。
工事請負契約に関しては、今後の工事計画や随意契約などの理由を確認。
それぞれについて審査を行い、全会一致で原案どおり可決しました。

新たな労務単価の追加関連などを審査！

予算・決算委員会（平成25年度補正予算審査）

平成25年度一般会計補正予算および各特別会計補正予算について、6月14日および21日に審査を行いました。

主な議案は

- ① 公共下水道事業特別会計補正予算
 - ② 簡易水道事業特別会計補正予算
 - ③ 介護保険特別会計補正予算
 - ④ 一般会計補正予算は、主に次の内容を審査しました。
 - 平成24年度国・道支出金精算返還金
 - 参議院議員選挙費
 - 生活保護適正実施推進事業費
 - 風しん予防接種（成人向け）緊急対策事業費
 - クリンクルセンター運営管理経費および中間改修事業費
- などそれぞれについて審査を行い、各議案について全会一致で原案どおり可決しました。

一般質問



エネルギー将来ビジョンを
具体的に示せ
二瓶 秀幸

【質】 会派視察で新エネルギーの先進地であり、当市と規模が似ている沖縄県宮古島市で勉強したことを踏まえ、さらなる新エネルギー関連の誘致活動と環境保全対策の具体的な将来ビジョンをただした。また温泉地区を温泉熱を利用したスマートコミュニティとする考えを提案した。

【答】 本年度登別東町に伯東(株)のメガソーラーが着工する。今後は太陽光、水力、バイナリー発電を重点に取り組み。温室効果ガス削減目標は、国の新しい計画が策定され次第、早急に目標を提示する。



生活保護基準の
引き下げについて
渡辺 勉

【質】 衆議院を通過した生活保護法の基準見直しは、現行と比べて10%の減額が明らかになった。また各種加算では、妊産婦、障がい者、介護施設入所者、在宅患者、母子加算など、最も弱い立場の方々の扶助が減額され、これでは支援にはならないと指摘した。

【答】 また衆議院で明らかになった、窓口での申請手続きや扶養の義務が強化されることについて『最後の命綱としての生活保護が申請しづらくなる』との指摘に、市として「運用は、今まで通りに行う」ことと確認した。



保育所などの
アレルギー対策について
村井 寿行

【質】 食物アレルギーにより、「アナフィラキシーショック」を引き起こした場合、30分以内の処置が生死を分けると言われるが、非常時の保育士による「エピペン」使用の考えについて。

【答】 保育所職員による「エピペン」の使用については、ガイドラインにあるように、緊急時の対応として取り組まなければならない課題ととらえている。安全性を十分考慮し職員の研修を踏まえ、非常時における対応を検討していく。



財源確保の再検証と
新たな取り組みを
松山 哲男

【質】 「今後の行財政運営」について、交付税と固定資産税増収の対応に特化し、一点目は、政府が提示した「骨太の方針」による次年度以降の地方交付税の配分を見直す方針への見解と影響、新たな視点での算定基準への取り組みについて。

【答】 一点目は、温泉小学校跡地などの未利用公有地や空職員住宅などの売却とその固定資産税の増収策の考えや、土地開発公社未利用保有地を情報公開し、民間の利活用の可能性や、民間業者と連携した取り組みの必要性などについて、それぞれ提言を交えて質問した。



庁内業務電子化の
進捗よく状況について
工藤 俊二雄

【質】 時代の変化に伴い庁内でも電子化が進み、業務内容も既にパソコンなしでは支障が出るほど変ぼうし、以前は筆記を主体的に使っていた業務から現在では大きく変わっていると思うが、庁内業務の電子化の進捗よく状況は。

【答】 庁内では、消防と保育士以外は一入一台パソコンを使用し平成20年から広域でサーバーを共有し、事務処理の軽減やセキュリティに十分配慮してコンピュータネットワークなどを利用しながら日常の業務を行っている。



障害者優先調達推進法に
ついて
木村 純一

【質】 当市が果たす役割や、課せられる責務など、また障がい者就労施設の今後の展開について。

【答】 同法律に基づいた調達方針の策定を進めるとし、公契約については国の措置に準じて検討する。

【答】 また民間事業者が、障がい者就労施設と直接協議できる場の提供など、さまざまな方法を検討し、障がい者就労施設の充実や利用者の賃金向上につなげたいと考えている。



保育所の
民営化問題について
佐々木 久美子

【質】 保育所における保育士の経験年数は保育サービスの質を左右する重要な要素と考えるが、仮に民営化になった場合に、ベテラン保育士と若い保育士がバランスよく配置できるか。

【答】 民営化された場合、経験の浅い保育士が増え、保育士の質を確保することが難しくなる可能性も考えるが、市は保育の実施責任者として、良好な環境で子供が保育を受けられるよう、研修等の実施を積極的に支援し、保育の質の向上を図っていく。



登別地区の
鬼なびステーション
山口 賢治

【質】 今回は、登別地区の有志数人で企業化した「鬼なびステーション」について問いました。この会社は、起業支援型地域雇用創造事業という、国の補助金を受けています。これについては、今までのものと違い、営利を目的として継続できるように取り組んでもらいたいと考えています。また市に対しては、新会社の経営方針を理解し、地域の方々との連携や、国のさらなる補助事業の情報提供など、しっかりとバックアップするよう求めました。